

## ■はじめに

今回のテーマは、廃校利用について取り上げています。日本が本格的な「少子高齢化・人口減少社会」を迎えることは、マスコミ報道等でご存じと思います。いままでは、日本全体の人口は増加しているものの、田舎から都市に人口が移動することで田舎の学校が廃校になっていました。これからは、人口減少という要素が加わり、廃校はまだまだ発生することが推測できます。愛媛県においても、県内20市町のすべてが、人口が減少するとしています。松山市などの都市部も例外ではありません。

廃校後の利用として、年に数回、地域の運動会とか防災訓練等で使用し、普段は鍵を掛けている場合があります。こうなると、大きな建物に人の気配がなくなり、地域が本当に寂れた感じがします。

しかし、県内外の各地域においては、廃校を「地域の宝」として活用策を考え研修施設、宿泊施設、介護施設、レストラン等、地域の重要な「常時利用施設」として有効活用している事例が多くあります。今回はこれらの様々な取組事例を紹介いたします。

(研究員 久保 光司)

## ■表紙のことは

人は誰しも、自分が通った小学校や中学校、高校のことをふと思い出し、楽しかったこと、旧友、恩師のこと、そんなノスタルジーに浸った時間を過ごすことがあります。

もし、自分が卒業した学校が廃校になったことを想像してみる。自分が通い、学び、遊んだ、あんなに活気があった学校が、人もいない、音もしない、明かりもない建物となり、施錠されていたら、どんなに寂しい気持ちになるでしょうか。

廃校は、人が減る以上、やむを得ないことでしょう。しかし、学校には、大きな設備と広い敷地がある。学校が廃校になっても活躍し続けてほしい。私の大好きなカフェやバイキングなら、誰に気兼ねすることもなく通って、学校に行くのがまた楽しくなる。

柳原あや子



## ●特集／廃校を地域の宝へ昇華する

- ① 移住者と移住を受け入れる地域の人びとの架け橋になる  
一移住体験施設クルツラントゥレーベン大三島一  
小池 昭仁／今治市 大三島支所 産業建設課長 2
- ② 地域内・外から人が集まる施設を目指して  
坂東 敏幸／櫛生地域自治会長 4
- ③ 閉園になった保育所が生まれ変わった「みまきガーデン」  
梶原 一二三／みまきガーデン 代表 6
- ④ 「新しい産業」と「豊かな人材」を育む施設へ  
一産学官民連携で推進する、うみらいく愛南一  
湯浅 良彦／うみらいく愛南(愛南町地域産業研究・普及センター)  
愛南町 水産課 水産振興係 主査 8
- ⑤ 島でいつまでも元気に暮らし続けるために  
石井 洋平／特定非営利活動法人 かさおか島づくり海社 事務局長 10
- ⑥ 人と自然が輝く高原の町「神石高原町」の小島総合福祉施設  
佐藤 佑美／神石高原町 福祉課 主任主事 12
- ⑦ 多和を天体望遠鏡の聖地に!!  
一地域とともに歩む博物館一  
片山 敏彦／一般社団法人 天体望遠鏡博物館 監事 14

## ●研究員調査レポート

- 愛媛県内の閉校校舎の利活用状況調査から  
(公財)えひめ地域政策研究センター 16

## ●地域おこし協力隊 リレーレポート

- 宇和島奥南地区から考える「地域おこし協力隊」のテーゼ  
～移住者だからこそ発揮出来る地域の魅力と価値の創造～  
渡部 武士／宇和島市吉田町奥南地区 地域おこし協力隊  
宇和島奥南エンゲージメント 代表 18

## ●移住コンシェルジュ通信

- 平成28年度の愛媛県移住促進事業を振り返って  
板垣 義男／えひめ移住コンシェルジュ 20

## ●特選ブログ/shin 1さんの日記

- 元学校を地域の宝に  
若松 進一／人間牧場主・年輪塾々長 22

## ●“MY TOWN” うおつちんぐ

- 今治ラヂウム温泉の不思議  
岡崎 直司／タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー 24

## ●Information センターからのお知らせ

- 平成29年度「地域づくり人養成講座」受講生の募集  
平成29年度まちづくり活動のアシスト事業の募集  
平成29年度地域づくりコーディネーター派遣事業の募集  
「えひめイベントBOX2017」発行のお知らせ 26

## ●公益財団法人 愛媛県市町振興協会

- 平成29年度事業のあらまし 28